

実施日：令和5年6月9日（金） コマ：2

事業名：アイヌの伝統等普及啓発等に必要な経費

とりまとめ結果：事業内容の一部改善

現状通り1名	事業内容の一部改善3名	事業全体の抜本的な改善2名	廃止0名
--------	-------------	---------------	------

【とりまとめコメント】

- 理解いただきたい内容の理解がきちんと進んでいるか、量による指標に偏りすぎず、質の向上も目指し、施策の改善につなげるべき。その際、若者の人材育成等にも配慮すべき。
- より深く、多様な人が関心を持てるような長期的な施設の運営計画等を検討すべき。
- ウポポイの来場者数100万人に向けて、現状どの段階にあり、いつまでに達成するのか、途中の達成状況もわかるような検証の方策を検討すべき。
- 広報資料の多言語対応を抜本的に改善し、品質管理を行うべき。
- 誘客促進のために適切な予算の使い方となっているか、入札方式も含め国が厳しく見ていくべき。

【外部有識者の主なコメント】

- ・ 「伝えたい内容」と来訪者の受けとめのギャップをしっかりと探るための丁寧で多様なアプローチが求められる。
- ・ 大手企業の随意契約が目立つが地域に根差した戦略的な調達の導入も必要。
- ・ 来場者数を増やす目標に対し施策の効果が上がっているのか評価が必要。
- ・ 誘客推進のための費用が適切に使用されているか。入札要件・手続が適切に実施されているかを、国の立場として厳しくチェックしていただきたい。
- ・ 発注にあたっては成果報酬型の委託費の活用など競争性発揮の工夫をお願いしたい。
- ・ 長期的な施設の運営計画等を検討すべき。例えば、より多くの方に理解いただくための遠隔での普及啓発、多様な人が関心を持てるテーマの広がり、リニューアル等により深く理解いただく工夫、などが必要。
- ・ ホームページやYouTubeが観光庁の多言語の方針を満たしておらず、品質管理が出来ていない。